

現在、18ヶ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会日本語教室は、大阪府立市岡定時制高校の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制高校の同窓会が中心となり1996年5月にスタートしました。

市岡国際教育協会は、田龍会(市岡高校定時制同窓会)に母校の廃校後も、引き続き支援して頂いております。

IchioKa

1999/06
第12号

発行人/市岡国際教育協会理事長 八木正一/編集/広報担当
大阪市港区市岡元町2-12-12 TEL:06-6582-0348

非営利活動法人
市岡国際教育協会 日本語教室

- 場所 大阪府立市岡高校内
- 日時 金曜日午後7時から約2時間
- ボランティア参加費
入会金 1000円
参加費 1000円
- 学習者は無料

NPO法による法人格を取得!

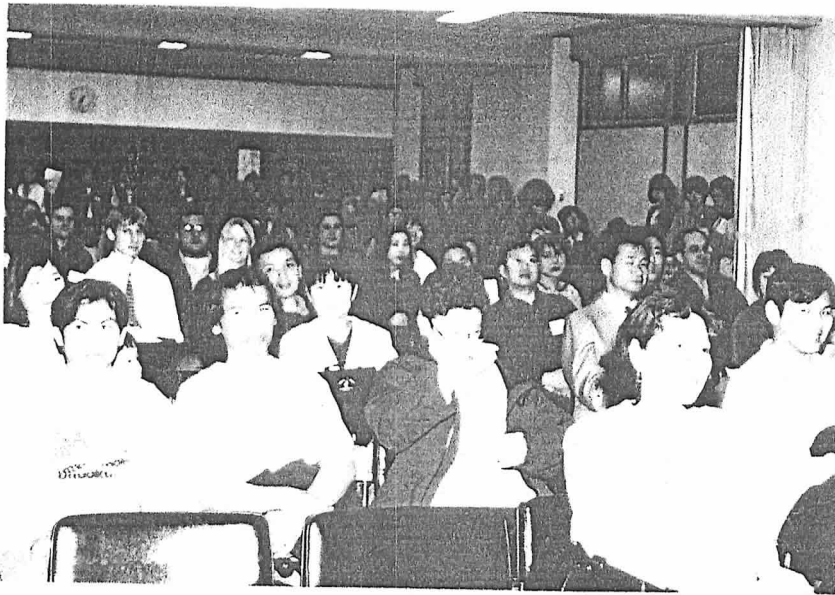
一九九九年の日本語会話教室が四月十六日から始まりました。六月五日現在、一八ヶ国九一人の学習者と百二十九人のボランティア(前年度からの継続四四人、本年度からの新規八五人)が、約二時間のマンツーマンの学習、様々なイベントを通してこの一年、交流を深めていきます。また、本年度からNPO法に基づいた法人格を持つボランティア団体として、活動をしていくことになりました。

法人になるということ

正式にいいますと市岡国際教育協会は「非営利活動促進法」に基づき、法人格が付与されて、非営利活動法人・市岡国際教育協会となったわけですが。

法人格を取得したからといって変わったことは、貯金通帳と電話の名義が法人名になったことぐらいです。普通の会社が法人格を持つているというのと、日常の事業活動は別ということと同じです。協会の主な活動であります「日本語教室」の活動は、法人格取得前と全く変わりません。

ただ、私が協会に期待し、守っていただきたいと思っていることは、「定款」という会則を作り、公表してありますので、これに基づき、協会が運営されることでもあります。定款作成過程で異論もありましたが、理事長以外の理事は日常にボランティア活動をされている人という条件がついています。そして一応の役割分担が為されており、その責任とは別に協会の運営責任を課されています。従いまして、会員の皆さんは運営について意見や提言がありま



日本語会話教室の様子

可能なのであります。具体的な活動の中から、方針や決まりが変わっていくのが正しい運営の在り方だと信じています。NPO活動は、標準となるものはありませぬので、みずからこれを作っていくという気構えが必要だと思えます。市岡流をつくり、それを市岡の標準とすれば良いと思えます。今の生き生きとした活動の中にこそ、社会の新しい分野といわれております社会貢献活動(ボランティア活

動)の真髄があると思えます。「これは何か」よい言葉で表していただき、そしてそれを協会全体の「合言葉」としてこれから進んでいきたいと思えます。最後に、監事の一人として、常に定款を基準として運営していただくことを希望します。そして、「定款」の不備欠点を見つけ、次の総会で改正しなければならぬということをお願いしております。(河原寛治さん/監事)

ボランティアリレーエッセイ 第2回

日本語教室でボランティア活動を始めて1年と少したちました。始めて見学に来たときに、果たして自分に務まるのかどうかとても不安だったのですが、今では結構楽しく毎週参加させてもらっています。

私がまず担当した学習者の方は中国から来られた主婦の方でした。1998年1月からボランティア活動を始めたのですが、4月になって彼女は教室に顔を見せなくなりました。そこでも今度はいよいよピン領事館に勤める、孫が十人いるという男性の方の担当となりました。夏休みが終わると2学期が始まると、中国の方が復帰されており、中国の子供さんを連れてお里帰りされていたとのこと。結局、再び彼女の担当に復帰することになり、今に至っています。

学習者の方は毎週必ず来られるとは限りません。急に教室に行けなくなるとは、お互い電話がフアックスで連絡を取りあうようにしているのですが、どうしても連絡がとれなかったときは教室であぶれてしまうこともありました。こういった時は、お互い相手にあぶれた者同士が組ん

で学習します。問題集を持ってこられている方は、それを使って日本語を覚えて下さいとおっしゃいます。新聞のチラシを持ってこられて、今日はこれが読めるようになって帰りたいとおっしゃった方もいました。日本での生活で困ったことや、職場で感じた不思議な(？)日本の習慣について話だけ話され、最後には質問責めにあって疲れ果ててしまったこともありました。

こうした中で気付いたことは、学習者の方々が市岡にやってくる理由が皆違うんだということでした。純粋に日本語が学びたいという人はもちろんですが、その中には日本語検定を目指す人、生活に切り離せない新聞や雑誌、スーパのチラシが読めるようになりたい人などさまざまです。日本人の友人を作ったり日頃疑問に思っていることを聞いてみたいという人、日々の生活のうさ晴らし(?)にやってくる人もいるのだということでした。

私事ですが、転職のため急きょ7月から東京に住むことになりました。期間限定の9ヶ月間で、来年の春にはまた大阪に戻ってくるものの、やはり生まれ育った場所から離れて暮らすのは不安です。ひとりで海外をウロウロ放浪した経験はありますが、今回は転職プラス東京住まいとあつて結構ビビっている今日この頃です。こういう状態って、市岡にいられている学習者の方と結構似ているのかもしれない。同じ日本の中であつても初めての土地で新しい仕事につくというのは、こんなにドキドキして不安なものだったんですね。

前の会社の上司がよく言っていました。「仕事というものは、相手のニーズに合わせて進めるもんや〜」これって市岡でのボランティア活動にも通じる言葉だったんです。私の新生活の不安につきあってくれたボランティアの方々は、果たして東京で見つかるのでしょうか?仕事のうさを居酒屋で晴らす!なんていう単身赴任のおやじみたいな行動だけはとりたくないのです。私のニーズに合わせてくれるボランティアの友人がうまく見つければいいなと願っています。

(橋本佐代さん / イベント係)

天保山まつりスタッフ募集!!

8月28日(土)天保山大観覧車前0-0-1(地下鉄中央線/大阪港駅下車)にて、天保山まつりが行われます。市岡国際教育協会では、有志の学習者の方とともに屋台を出店することとなりました。それにとともに、当日のお手伝いをしてくださるボランティアスタッフを募集しております。

- ★料理作成スタッフ
- ★屋台販売スタッフ
- ☆運搬スタッフ
- ★屋台の設営スタッフ 他

「とにかくお祭り大好き!」「国際色ゆたかなお友達の輪を広げたい!」などなど、興味のある方はお気軽にご参加ください。ご都合のよい時間帯のみの参加もOKです。

参加希望者の方は山根(イベント係)または鳥居(広報係)まで(ご家族・お友達の参加もOKです)。

天保山まつりとは...
世界一低い山「天保山」のある築港地区は、古くから多数の外国船員が行き交う国際色豊かな町。そんな天保山で、地元天保山商店会・国内のボランティア団体・日本に住んでいる外国人の方々が一丸となり、国際交流を目的としたお祭りが行われます。「ヤタイ」での海外の料理、ステージでの催し物発表、展示など、イベントも盛りだくさん!合言葉は、**インターナショナルビッグパーティーをみんなで楽しもう!**

7/9	(金)	オープニング 1学期最終日 (7時から約2時間)
8/28	(土)	天保山まつり
9/3	(金)	2学期スタート
10月		交流イベントデー
11月		オーク フェスティバル参加 チャリティーコンサート
12/10	(金)	クリスマス オープンクラス (7時から約2時間) 2学期最終日
H12		
2/4	(金)	終了式 (7時から約2時間)

ボランティア保険手続きの完了
1999年度の登録ボランティアのボランティア保険(住友海上火災保険)ボランティア総合補償制度BプランII最高補償額千六百六十五万三千円、掛金五百円/年の加入手続きが、大阪市港区社会福祉協議会を通じて完了しました。ボランティア活動中の事故などに対し、傷害保険、賠償責任保険、死亡葬儀金が補償されます。詳細につきましては、総務理事の八尋さんまで。

ハンケル語教室開講
4月より、姜先生によるハンケル語講座が行われています。授業はたいへん和気あいあいとすすまられています。興味をもたれた方は、ぜひぜひご参加ください。ハンケル語教室:午後7時半、詳細は事務所まで

運営にご協力を!
市岡国際教育協会では日本語教室を支えるボランティアのレベルアップをし、学習者が安心して日本語を学べる環境作りをしてゆきたいと思っております。その為に必要なる財源の確保をしなければなりません。頂いたご寄付は、ボランティア研修会の補助、会報制作費、事務通信費などに使わせていただきます。よろしくお願ひ申し上げたいです。市岡国際教育協会 郵便振替 0090004195748

※ ※ ※
簡単な読み物、仮名ドリル、いろはかるた等、教材として使えそうな物、文房具等の寄付もありません。たら教務までお願いいたします。